財宝_USDJPY_M5(MT5)の概要（バックテスト結果に基づく紹介）

【設定概要】
①通貨：USDJPY
②ロット：0.07Lot
③バックテスト期間：2021/1/7～2025/1/1
④モデリング品質：100%

【取引概要】
①総取引回数：1,953回
➡バックテスト期間の約4年間で年間480回前後と、取引回数は比較的多め。取引回数は高水準ですが、
複数ポジションを同時に保有する設計であることがうかがえるため、売買回数の多さはその戦略性によるものと考えられます。

②平均獲得PIPS：3.01PIPS
➡ 勝ち平均は +19.02pips、負け平均は -18.66pips。このためリスクリワード比は約1.02（＝勝ち1に対して負け0.98）。
損益バランスはフラットに近く、勝率との組み合わせで成績を構築するタイプです。

③損益分岐率：49.9%
➡勝率57.7%に対し、損益分岐率との差は7.8%。一定の余地を持ちつつも、勝率が低下すると成績に影響しやすい数値です。

【特徴】
◆バックテスト上では、曜日や時間帯など、アノマリーを根拠とした取引設計で、特定のタイミングを狙う仕組みを持っている。
◆バックテスト期間の総損益は+537,324円（初期証拠金100万円・0.07Lot時）。
◆最大ドローダウンは-11.2%（約98,847円）で、資金効率とリスクバランスは中程度。
【留意すべき点・リスク】
◆年単位で損益がマイナスとなる年（例：2023年）もあり、アノマリーが機能しない局面では成績が不安定になり得る。
◆バックテスト期間上の月ごとの損益変動が大きく、マイナス幅の大きい月も複数発生しているため、資金に余裕を持った運用が前提となる。
◆スワップ収支がマイナス寄り（-132,504円）で、取引環境や口座条件によってはコストが成績に影響する可能性がある。
【補足】
本資料はバックテスト結果に基づいて特徴を整理したものであり、将来の成果を保証するものではありません。
実際の取引環境（スプレッド、約定速度、口座条件など）によって結果が異なる可能性があります。